

新型コロナウイルスの影響で延期された東京オリンピックですが、過去のオリンピックでは、皆さんと同じくらいの年でメダルを獲得した選手たちがいます。今回は、そんな10代のメダリストを紹介します！



《競泳》					
	女子 200m 平泳ぎ	岩崎恭子	14 歳	バルセロナ (1992)	金
	女子 400m 個人メドレー	田島寧子	19 歳	シドニー (2000)	銀
	男子 400m 個人メドレー	萩野公介	17 歳	ロンドン (2012)	銅

《体操》					
男子個人総合	内村航平	19 歳	北京 (2008)	銀	
男子団体総合	内村航平	19 歳	北京 (2008)	銀	
男子団体総合	白井健三	19 歳	リオデジャネイロ (2016)	金	
男子種目別跳馬	白井健三	19 歳	リオデジャネイロ (2016)	銅	

《柔道》					
	女子 48 kg以下級	田村亮子	16 歳	バルセロナ (1992)	銀
	女子 52 kg以下級	中村美里	19 歳	北京 (2008)	銅

《卓球》					
女子団体	伊藤美誠	15 歳	リオデジャネイロ (2016)	銅	

*1992 年以降の夏季大会メダリストを紹介しています。

トショブラ♥ ～湖南市の図書館もつかえるよ！～

2021 年 6 月からおとなりの湖南市の図書館でも本が借りられるようになりました！湖南市には石部と甲西に 2 つ図書館があって、甲賀市にない本もたくさんあります。スマホやパソコンで読める電子図書もあるので、ぜひ利用してください。保険証や住所が書いてある生徒手帳・学生証を湖南市の図書館へもっていけば、すぐに利用カードが作れます。どちらの図書館も駅から近いので、夏休みに行ってみてはいかがでしょうか？

発行：甲賀市図書館

水口図書館：63-7400 土山図書館：66-1056

甲賀図書館情報館：88-7246 甲南図書交流館：86-1504

信楽図書館：82-0320

ホームページ：<http://lib.city.koka.lg.jp/>



vol.13

2021. Summer-Autumn

Koka City Library

ヤングアダルト (Young Adult) とは、13 歳から 19 歳の世代の人たちに対して使われている言葉で、「若いおとな」という意味です。甲賀市図書館ヤングアダルト通信『ホンマニ！』では、ヤングアダルト世代のあなたに、おすすめの本を紹介します。

おすすめ この 1 冊



贖罪が今、始まる――。

『冬の朝、
そっと担任を突き落とす』
白河三兔／著 新潮社

担任が飛び降りをしたにもかかわらず、平穏が続いているクラス。だが、その平穏は表面上だけのもの。遺書はなかったがクラス全員が理由を知っていながら、それぞれが抱える事情と罪の意識で葛藤しているのだった。そんなクラスに季節外れの転校生が現れ、自己紹介の終わりに担任の遺書を探し出すと言いつつ――。

自分を守るため、誰かを守るため、または自分の「正義」を貫くための行い。それが悪意なき罪となって事実を覆い隠し、クラスメイトを、担任を、さらには自分を苦しめる結果になってしまった高校生たち。けれども、彼らは贖罪を通して成長していく。

●親になるって、未来が2倍以上になることだよ
『そして、バトンは渡された』

瀬尾まいこ／著 文藝春秋



優子は父親が3人、母親が2人いる。家族の形は17年間で7回も変わった。3人目の父親「森宮さん」は、父親業に張り切るあまり、いつもどこかとぼけていて、毎日とは愉快で愛情にあふれていた。

まるでバトンのように、血のつながらない親の間をリレーしてきた優子。でも「困った。全然不幸ではない」という書き出しで始まる物語は、くすっと笑える場面や、おいしそうな食べ物がたくさん登場します。複雑な環境の中、どの親にも愛情を注がれた優子の成長に、読んだ後には心がじんわり温まるお話です。2019年本屋大賞受賞作、今年10月に実写映画公開予定です。

●自分の殻をぶち壊せ！
『いちご×ロック』

黒川裕子／著 講談社



受験に失敗、初めての失恋…。どん底の高校一年生、莓。さらに追い打ちをかけるように、父親がとんでもない事件を引き起こしてしまう。傷心の莓が河川敷で巡り会ったのは、なんとも奇妙なパフォーマンスを繰り広げる3人組。それはなんと、エアギターだった。突如エアギターに巻き込まれ戸惑う莓だったが、この出会いが彼女のどん底な日々を、夏の暑さにも負けない、アツくてロックなものに変えていくのだった。

●なぜか自分には優しく出来ない人へ
『大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした』

クルベウ／著 藤田麗子／訳 ダイヤモンド社



肩の力を抜いて、リラックスして自分らしく…よく見聞きする言葉ですが、実践するのは、なかなか難しいものです。一見辛いことなんて無さそうにしている、平気なフリをしているだけの人が結構多いのではないのでしょうか。

自分のことが気に入らない。やる気がどうしても出ない。向いている職業が見つからない。

詩のような小さなストーリーには、悩みがあっても誰かに相談するのが苦手な人へ向けて、毎日を楽しめるヒントとエールが込められています。

●休むことは意外と難しい
『学校では教えてくれない自分を休ませる方法』

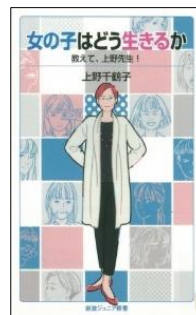
井上裕紀／著 KADOKAWA



「学校を休む＝休めている」とは限りません。学校での勉強や友人関係、家庭内の環境など、限られた世界の中で様々なストレスがかかってきます。近ごろは新型コロナウイルスのため普通とは違う状況下におかれ、よりストレスを感じているのでは？この本には自分がかかえているストレスを「整理する一つながる一対処する」の3ステップで解決する方法と、様々な悩みについて整理した実例が載っています。心と体を守るための休み方を教えてくれる1冊です。

●その足かせを取っ払おう
『女の子はどう生きるか』

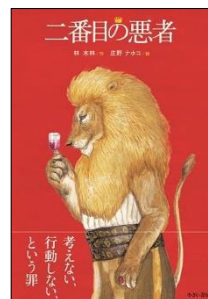
上野千鶴子／著 岩波書店



現在でも多くの女の子が、古くからの慣習や刷り込まれた価値観によって、自分の可能性を見限ったり、やりたいことを無意識にあきらめてしまっていることがあります。女の子だからあまり勉強できなくていい（できない方がいい）？理系の研究者は男の子が目指すもの？結婚して姓を変えるのは？この本では著者の上野さんがそんなモヤモヤを一喝してくれます。誰もが自分の生き方を自分で選べるように。そのとき、性別にとらわれないで決められるようになりたいものです。

●自分の目で確かめることの大切さ
『二番目の悪者』

林木林／作 庄野ナホコ／絵 小さい書房



金色のたてがみを持つライオンは、自分こそが新しい王様にふさわしいと思っていました。しかし、心優しい銀色のたてがみを持つライオンが次の王様候補だという噂を聞きつけます。金のライオンは彼を王様にさせまいとある噂を流し始めて…。

自分の価値観を左右するような情報がメディアやSNSなどで溢れている現代。真実を確かめないまま噂を信用したり拡散したり…あなたも心当たりがあるのではないのでしょうか？最後まで読み終えた時、タイトルの意味を考えさせられます。